

# 介護施設のための ACP (アドバンス・ケア・プランニング) 研修 開催要綱

## 趣旨

令和3年度の介護報酬改定で、看取り介護加算の算定要件として、介護保険施設と高齢者の住まいに「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に沿った取り組みを行うことが求められています。しかしながら、看取りを実践している介護施設の多くが、終末期における意思決定支援について、悩み・戸惑いながら業務にあたっていると考えます。

本研修では、人生の最期の時をどのように迎えたいのかを、予め本人・家族、医療福祉従事者と話し合い、共有するプロセスであるACPの概念を理解し、進め方や必要なスキルを学ぶことで、本人や家族の思いを尊重した意思決定支援を行うことを目的に開催します。

## 研修のポイント！

### ACP(アドバンス・ケア・プランニング)について体系的に学べます

ACPの考え方が推奨されるようになった背景から、今日までの変遷を理解することで、ACPの考え方を体系的に学べます。

### 緩和ケアの視点から、ターミナル期のQOLについて理解します

ターミナル期におけるQOL等の考え方など、緩和ケアに対する知識を養い、適切な意思決定支援を実践する能力を習得します。

### 他施設の取り組みを知ることができます

ACPを推進している介護施設の実践報告から、取り組みのヒントを得るとともに、実践に必要な不可欠な多職種連携の重要性について学べます。

## 開催形式

オンライン（オンデマンド配信／ライブ）

## 対象

介護施設等で管理・指導的立場の職員、相談支援業務を担う職員  
その他専門職

## 配信期間

令和7年11月11日（火）～12月26日（金）

## 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

## 申込期間

令和7年9月10日（水）～10月8日（水）

## 受講決定

令和7年10月15日（水）までにメールでご連絡します。

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
約60分	<b>講義1</b> 「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の基礎理解」	「終末期医療の決定プロセスに関するガイドライン」から今日に至るまでの改訂の経緯や、看取り介護加算の変遷を学んだうえで、人生の最期の時をどのように迎えたいかを話し合い共有するプロセスであるACPの概念や構造、意思決定支援の進め方とそのポイントについて理解します。
約90分	<b>講義2</b> 「緩和ケアの考え方について」	適切な意思決定支援を実践するために、終末期医療に関する知識を身につけ、ターミナル期におけるQOLの考え方など、緩和ケアについての理解を深めます。
約60分	<b>講義3</b> 「ACPの取り組みにおける多職種連携」	ACPに積極的に取り組んでいる介護施設等から、実践報告として、チームアプローチや外部連携等を含めた施設としての取り組みを学びます。